

第1四半期決算説明資料

2027年3月期(2026年度)

石原産業株式会社

2026年8月10日

第1四半期決算のサマリ

※端数について実績は切捨て、計画は四捨五入(以下、本資料について同じ)

(単位:億円)	2025 1Q実績	2026 1Q実績	対前年同期 増減
売上高	425	392	△32
営業利益	52	22	△30
経常利益	61	41	△20
親会社株主に 帰属する純利益	47	10	△37

2025上期 実績	2026上期 当初予想	2026上期 今回予想	対前期上期 増減	対当初予想 増減
764	720	750	△14	+30
73	13	31	△42	+18
85	6	38	△47	+32
56	1	7	△49	+6

◆ 第1四半期実績(対前年同期比)

- 売上高 [減収] 農薬販売で前期の上振れ要因が落ち着いたため。
- 営業利益 [減益] 農薬の共同開発契約に関連して過年度分を含めた開発費17億円を支出した。
- 経常利益 [減益] 為替が差益に転じるなど営業外損益は増益であったが、営業利益の減益を埋められず。
- 純利益 [減益] 特別損失として子会社の減損25億円を計上。
(無機化学事業構造改革の追加施策による。9ページ参照。)

◆ 上期予想

- 経常利益 為替の想定を157円/\$、182円/€に見直し
- 純利益 上記の特別損失を計上しても+7億円の見通し

為替レート	(円/USD)	(円/EUR)
1Q平均(実績)	159.9	184.9
上期末 想定(今回見直し)	157.0	182.0

<通期予想について>

売上高	修正なし
営業利益	//
経常利益	//
親会社株主に帰属する 当期純利益	未定

(無機化学事業構造改革に係る追加施策実施により発生する特別損失が未確定のため)

事業別売上高・営業利益

※営業利益は、共通費配賦後の値

(単位:億円)			2025 1Q実績	2026 1Q実績	対前年同期 増減	2025 上期 実績	2026 上期 当初予想	2026 上期 今回予想	対上期実績 増減	対当初予想 増減
有機化学	バイオサイエンス	売上高	249	206	△42	407	376	377	△30	+1
		営業利益	39	12	△27	50	4	10	△40	+6
	ヘルスケア	売上高	4	4	+0	8	16	15	+7	△1
		営業利益	△2	△0.5	+1	△5	△6	△4	+1	+2
無機化学	機能性色材	売上高	18	19	+1	32	31	34	+2	+3
		営業利益	3	4	+0	7	7	7	0	0
	電子材料	売上高	28	31	+3	53	62	65	+12	+3
		営業利益	5	5	+0	8	10	12	+4	+2
	ファインケミカル	売上高	117	118	+1	244	218	238	△6	+20
		営業利益	5	0.3	△5	11	1	4	△7	+3
その他		売上高	8	11	+3	19	17	19	0	+2
		営業利益	0.3	0.4	+0	1	△1	1	△1	0
合計		売上高	425	392	△32	764	720	750	△14	+30
		営業利益	52	22	△30	73	13	31	△42	+18

◆ 有機化学事業

- ・ [農薬] 共同開発費を含む研究開発費の支出が増加し。上期は対前期で減益見通し。

◆ 無機化学事業(対前年)

- ・ [電子材料] 積層セラミックコンデンサー向けを中心に増収増益の見通し。

事業別の今期見通し(事業環境等)

セグメント	事業	2026年度 当初予想	今回見通し
有機化学	バイオサイエンス	【売上】 平年並みの天候を見越して減収見通し。 【粗利率】 製造コスト改善で前期並みを維持。 【営業利益】 新規剤開発費などの一般管理費増により、減益見通し。 【中東情勢】 中間体・副原料の調達に大きな支障なし。	売上は、欧米でトルピラレートやフロニカミドが対前年同期比減収であるが、当初予想でほぼ織り込み済み。 営業利益は、共同開発等の研究開発費増加で対前年同期比△40億円であるが、当初予想でほぼ織り込み済み。
	ヘルスケア	【売上・粗利】 動物用医薬品の販売数量増。 【営業利益】 米国完全承認に向けた研究開発費の支出が継続。赤字解消は来期に持ち越し。	売上及び営業利益は全体でほぼ想定通り。
無機化学	機能性色材	売上・営業利益ともに前期並みの水準。	導電材と化粧品向けが堅調に推移し、上期の営業利益は当初予想から微増の見通し。
	電子材料	四塩化チタン販売等で堅調な伸び。増収増益見通し。	AIサーバー需要拡大により積層セラミックコンデンサー向けが好調で、上期は当初予想に対して売上・営業利益ともに増加の見通し。
	ファインケミカル	【売上】 需要低迷により減収見通し。 【営業利益】 国内外で販売価格是正により収益改善。 【中東情勢】 石炭価格上昇するも、鉬石価格下がっており、影響少なめ。 【その他】 火災の富士チタン工業(株)神戸工場は7～8月に再稼働へ。	中東情勢の影響で先取りによる販売増等で上期の営業利益は当初予想から増加の見通し。 構造改革追加施策として、富士チタン工業(株)は酸化チタン事業から今期中に撤退。
その他事業		前期並み	特記事項なし。

営業外損益・特別損益

<営業外損益> 為替は、前年同期の差損、当第1四半期は差益に転じる。

(単位:億円)

第1四半期実績 (対前年同期実績)	2025 1Q実績	2026 1Q実績	対前年 同期増減
為替差損益	△1	4	+6
持分法利益	12	15	+3
その他	△0	△0	0
合計	9	19	+9

上期予想 (対前年同期実績)	2025 上期実績	2026 上期予想	対前年 同期増減
為替差損益	4	△3	△7
持分法利益	10	14	+4
その他	△3	△4	△0
合計	11	7	△4

<特別損益> 富士チタン工業(株)神戸工場の減損損失25億円を特別損失に計上。

(単位:億円)

第1四半期実績 (対前年同期実績)	2025 1Q実績	2026 1Q実績	対前年 同期増減
固定資産処分損	△3	△1	+2
減損損失	△0	△25	△24
その他	0	1	+0
合計	△4	△25	△21

上期予想 (対前年同期実績)	2025 上期実績	2026 上期予想	対前年 同期増減
固定資産処分損	△4	△1	+4
減損損失	△3	△26	△23
その他	0	△1	△1
合計	△7	△27	△19

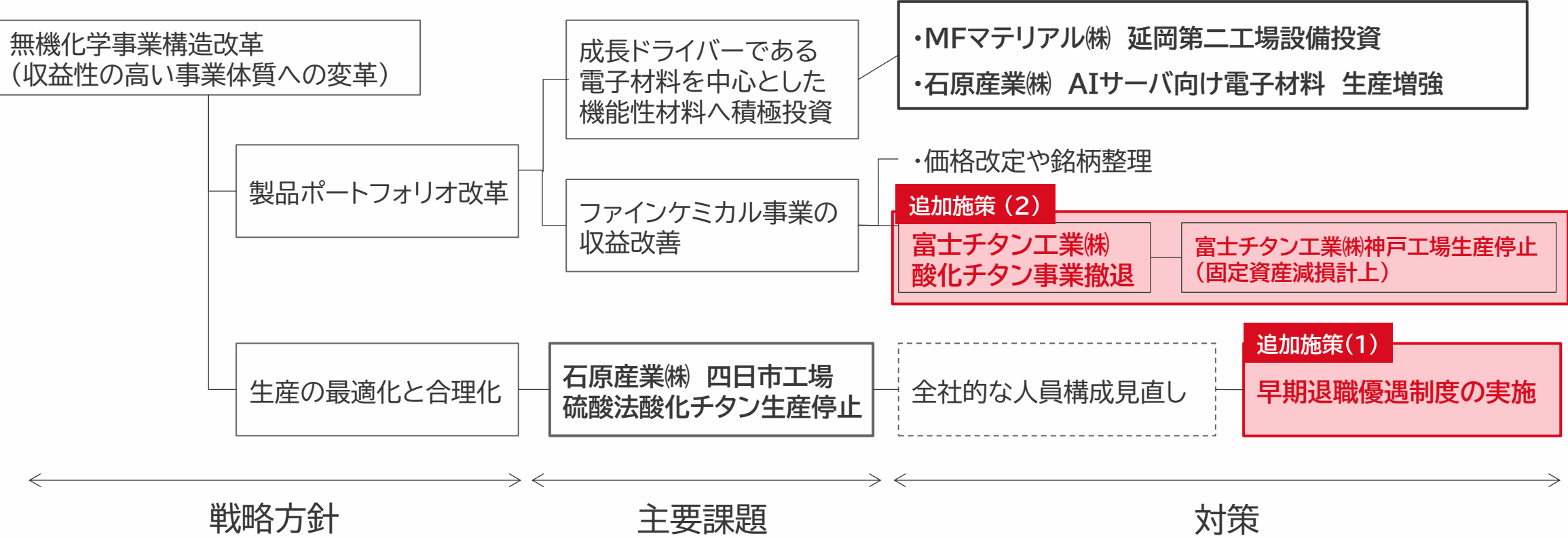
貸借対照表（前期末との比較）

				(億円)			
科目	2026年 3月末	2026年 6月末	増減	科目	2026年 3月末	2026年 6月末	増減
流動資産	1,618	1,589	△28	負債	1,112	1,092	△19
現預金	294	297	+3	買掛債務	124	113	△10
売掛債権	487	507	+20	有利子負債	739	715	△24
棚卸資産	801	757	△43	引当金	17	26	+9
その他	34	26	△8	退職給付に係る負債	97	96	△0
固定資産	785	780	△5	その他	135	142	+7
有形固定資産	535	501	△34	純資産	1,291	1,277	△14
無形固定資産	23	23	+0	株主資本	1,201	1,176	△25
投資その他資産	227	255	+28	その他	90	100	+10
資産合計	2,404	2,370	△33	負債・純資産合計	2,404	2,370	△33

無機化学事業 構造改革の追加施策について

[構造改革の体系]

赤枠が今回発表



無機化学事業 構造改革の追加施策(1)

早期退職優遇制度の実施（対象：石原産業㈱本体のみ）

- ① 対象 全従業員のうち、2027年3月31日時点において次のいずれかに該当する者
 - ・ 満50歳以上満60歳未満で、勤続10年以上の正社員
 - ・ 定年再雇用者※対象範囲等の詳細は社内制度に基づく。
- ② 募集人数 100人程度
- ③ 募集期間 2026年10月26日から2026年11月10日まで
- ④ 退職日 2027年1月31日または2027年3月31日
- ⑤ 優遇措置 通常の退職金に加え、退職加算金を支給するとともに、希望者に対して外部専門会社を通じた再就職支援を実施

- 退職加算金等の費用は、2027年3月期に特別損失として計上予定。
ただし、応募者数などが未確定であり、特別損失額は現時点では算定できない。通期業績も未定。

無機化学事業 構造改革の追加施策(2)

富士チタン工業(株)(連結子会社)の酸化チタン事業の撤退

<背景>

- 硫酸法により、神戸工場(兵庫県神戸市北区)にて化学繊維用を中心に酸化チタンを製造
- 同社の主力事業だが、近年は収益面で低迷 (2026年3月期で売上60億円、営業損失7億円)

<今般の判断>

- ① 2026年度に神戸工場の操業を停止
 - ② 従業員約160名の処遇については、今後、誠意をもった対応を進める
 - ③ 他の事業については、引き続き事業性を勘案し継続可否を検討 (いずれにしても連結業績への影響は軽微)
- 神戸工場の固定資産の減損損失25億円を、2027年3月期の第1四半期決算にて特別損失に計上。
 - 今後発生する設備の撤去費用や従業員の処遇に関する費用も、今期以降に特別損失に計上予定であるが、現在は評価・精査を継続しており、精査が完了次第速やかに開示する。



Local Insight, Global Impact

- ・将来見通しに関わる記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料には、公表時点での将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。日本及び海外の経済情勢・需要動向・競合状況・為替の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

- ・本件に関するお問い合わせ先

石原産業株式会社 財務本部 IR部